

富士宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略（概要版）

（1）位置づけ 「まち・ひと・しごと創生法」第10条に基づく、富士宮市人口ビジョンの目指す将来展望人口を実現するための具体的な施策を示したものであり、「人口減少社会への挑戦、東京一極集中の是正」という政策課題に対応する横断的分野別計画である。

（2）取組期間 国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と整合させ、取組期間は、2015年（平成27年）度から2019年（平成31年）度までとする。

（3）「第5次富士宮市総合計画」との関係

本市においては、第5次富士宮市総合計画と富士宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略を同時期に策定するため、両計画の関連性を整理し、具体的な施策については、第5次富士宮市総合計画との整合を図り、第5次富士宮市総合計画の戦略的な取組を受け持ち、包括的に深化させたものである。

（4）基本目標の設定と施策の推進・検証の枠組み

本市における5年後の基本目標を定めるとともに、この基本目標の実現に向け、講ずべき施策に関する基本的方向と具体的な施策を記載する。施策の効果については、客観的に検証できる指標【重要業績評価指標（KPI）】を定めるとともに、定期的に取り組内容を検証し、改善する仕組み（PDCAサイクル）を確立する。

取組方針

本市の3つの強みこそ、本市が誇れる「本物」である。本取組に当たっては、これらの強みを最大限に生かし、市民・民間・行政が一体となって「オール富士宮」で進んでいくものとする。

富士宮市の3つの強み

富士山の力

富士山の山麓に広がる雄大な森林や豊富な湧水などの自然環境は、富士山からの恵みであり、多くの産物を私たちに与えてくれる。また、世界遺産富士山の構成資産は、富士山信仰の歴史を今に伝える貴重な財産であり、霊峰富士が持つ自然の力、そして今も昔も人々を魅了する力、これらの力こそが、本市の強みである。

地域の力

富士宮やきそばで地域が活性化されたのは、熱い思いを持った市民の行動力のたまもの（動かす力である「人」）であり、産業面では独自性のある質の高い製品など、多くの「もの」が生み出されており、今後も更なる発展の余地が見込まれる。「人」「もの」これらの力こそが、本市の強みである。

東京圏との距離が持つ力

本市から東京圏との距離は、約150キロメートル。新幹線新富士駅の利用による東京までの所要時間は、約1時間30分。東京圏から少し足を延ばせば、そこには、都会に住む人の心も体も癒やす、富士の麓の大地に抱かれた富士宮の空気が広がっている。東京圏から訪れやすい距離、東京圏への通勤が可能な距離の持つ力こそが、本市の強みである。

基本目標 1

「住んでよし」

の安全・安心なまちを創造

総合計画の重点取組

- 元気はつらつ健康長寿プロジェクト
- 防災・減災と公共施設の長寿命化等推進プロジェクト
- 地域コミュニティ充実プロジェクト
- ここで働き、ここに住むプロジェクト

基本方針

「小さな拠点」づくりの推進など、地域の実情に応じたまちづくりを推進するとともに、医療や地域福祉に関する総合的な環境整備を行う。また、人口減少等を踏まえた既存ストックのマネジメント強化や地域のサービス提供機能の維持を図る。

政策

- （1）安全・安心に向けた取組
- （2）地域活動の充実
- （3）健康づくりの推進
- （4）医療機関の充実と地域医療体制の確保
- （5）地域福祉の推進と福祉サービスの充実
- （6）公共交通の充実と利用促進
- （7）空家の活用と集落拠点地域の形成
- （8）周辺市町との連携の強化
- （9）効果的・効率的な行政運営

重要業績評価指標（KPI）

防災訓練に参加する人の割合	38.3%	→	41.2%	
非常用食料の備蓄数	15万食	→	約45万食	
木造住宅の耐震補強工事（実施率）	4.9%	→	7.3%	
自治会加入世帯数	39,635世帯	→	39,940世帯	
健康寿命年齢	（男性）	78.0歳	→	78.6歳
	（女性）	80.6歳	→	80.9歳
診療所等から市立病院への紹介率	67.2%	→	69.5%	
市立病院から診療所等への紹介率	43.7%	→	49.0%	
認知症サポーター数	10,668人	→	15,000人	
宮バス・宮タクの利用	（宮バス）	5.92人/1便	→	6.79人/1便
	（宮タク）	1.92人/1便	→	1.98人/1便

基本目標 2

「訪れてよし」

の魅了するまちを創造

総合計画の重点取組

- 世界遺産のまちづくりプロジェクト
- 世界に飛躍する国際文化都市プロジェクト
- 富士山後世継承プロジェクト
- ここで働き、ここに住むプロジェクト

基本方針

富士山が世界遺産登録されたことにより、国内はもとより外国から訪れる観光客を富士宮らしくもてなし、交流することで、本市のイメージアップを図り、何度でも訪れたいと思えるまちを創造する。また、このまちを選び、住み続けたいと思う人を支援する。

政策

- （1）世界遺産のまちづくりの推進
- （2）観光基盤の整備と観光客誘致の推進
- （3）移住・定住の促進
- （4）食の情報発信による富士宮ブランドの確立
- （5）広報活動の充実

重要業績評価指標（KPI）

観光客数	598万人	→	625万人
宿泊客数	19万人	→	21万人
市内年間商品販売額	1,103億円	→	1,103億円
営業店舗率	71.4%	→	71.4%
ホームステイボランティア数	26世帯	→	36世帯
日本語ボランティア数	24人	→	36人
移住・定住推進活動団体数	1団体	→	3団体
市ホームページのアクセス数	430万件	→	470万件

基本目標 3

「出会うよし 結ばれてよし」 「生んでよし 育ててよし」「学んでよし」

のあたたかいまちを創造

総合計画の重点取組

- 結婚・出産・子育ての希望実現プロジェクト
- 女性が輝く、さくや姫プロジェクト
- 富士山後世継承プロジェクト
- 防災・減災と公共施設の長寿命化等推進プロジェクト
- 世界に飛躍する国際文化都市プロジェクト

基本方針

若者が希望どおり結婚し、子どもが持てるよう、若い世代の経済的安定を図るなど、結婚・出産・子育てについて、切れ目のない支援に取り組む。

政策

- （1）結婚・子育ての思いが実る環境づくり
- （2）女性が活躍できる社会づくり
- （3）地域における子育て・子育ての支援
- （4）良質な保育・教育の提供
- （5）配慮が必要な児童・家庭の支援
- （6）教育環境の整備と学校教育の充実
- （7）子育てにおける経済的な支援の充実

重要業績評価指標（KPI）

ベビーステーションの登録施設数	0か所	→	16か所
教育・保育の認可施設における利用定員	3,866人	→	4,318人
早期療育支援の新規相談件数	241件	→	256件
児童虐待防止支援の延べ相談件数	260件	→	276件
静岡県の判定基準による耐震化率	89.3%	→	95.0%
「生活の中で英語を使っている」という小学生の割合	51.3%	→	70.0%
「子どもに力が付く、楽しい英語の授業をしている」という小学校教員の割合	64.4%	→	80.0%

基本目標 4

「働いてよし」

の活力あるまちを創造

総合計画の重点取組

- ここで働き、ここに住むプロジェクト
- 世界遺産のまちづくりプロジェクト
- 富士山後世継承プロジェクト
- 女性が輝く、さくや姫プロジェクト
- 結婚・出産・子育ての希望実現プロジェクト

基本方針

地域の産業構造や自然環境等を分析した上で、農林水産業や工業、商業など、雇用機会の確保や創出につながる地域の特性を生かした産業政策に取り組む。

政策

- （1）農業の振興
- （2）畜産の振興
- （3）林業の振興
- （4）工業における産業基盤の構築と地域産業の振興
- （5）商業における経営基盤の強化
- （6）中心商店街の振興
- （7）働く場所の確保と安定した雇用の創出

重要業績評価指標（KPI）

認定農業者数	181人	→	201人
畜産堆肥の利用量	756t	→	1,064t
自生種の植樹面積	25.1ha	→	29.1ha
森林の間伐実施面積	2,616ha	→	4,104ha
製造品出荷額	7,750億円	→	8,750億円
知的財産権の取得・活用に関する相談受付件数	20件	→	24件
市内年間商品販売額	1,103億円	→	1,103億円
営業店舗率	71.4%	→	71.4%
市内で働く勤労者数	19,212人	→	19,842人